

令和3年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

当園ではこの度、令和3年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は、仏教の知性と慈愛のもとに、幼児に良き教育環境を与え、明るく、のびのびと楽しい体験を通じて、社会に生命を生かす、自主的精神に充ちた心身共に、健やかな人間完成をめざし、仏の心として愛育助長したいと念うものです。

1. 元気なつよい子ども
● 幼児の心身の調和的な発達を図り、健全な心身の基礎を養う
2. きまりを守る子ども
● 基本的、生活習慣と正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳的芽生えをつちかう
3. のびのびとした創造性豊かな子ども
● のびのびとした表現活動を通じて、創造性を豊かにする

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上 ● 安全管理体制の充実 ● 保護者への発信 ● 長時間保育の検討

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 教職員の資質向上	オンライン研修が増え「実体験」が少ない状況下での学びを創意工夫し、子どもたちへの声かけや保育の流れに取り入れて、日常保育に活かしていく。	B これまでの経験を活かした取り組みはできたものの、コロナ禍で研修に参加できる教職員が限定されたり、研修内容の共有の時間を設ける事ができなかったり、と課題が残った。
2 安全管理体制の充実	安全な園生活を提供するため、点検項目の見直しを行い定期点検を引き続き励行していく。	A 定期的な点検を実施する事ができていた。また現場ではそれ以外に、子どもたちと遊びながら遊具を確認して、日常的な点検を行われていた。
3	緊急時のマニュアル等を再確認のうえ整備し、地域との連携を図った訓練を試みていく。加えて消防署等の実地訓練や不審者対応訓練も実施していく。	B 令和3年度に新たに緊急時マニュアルの改訂を行った。その上で、避難訓練も定期的実施され、職員たちが共通認識をもって行動できるようになっている。一方で地域との連携や消防署等との実地訓練はコロナ禍もあってか実施するに至らなかった。

令和3年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	保護者への発信	保護者の共通理解を得ていくため、園の法人やねらい等を分かりやすく伝えることを常に心掛けていく。	A 園の様子について、SNSやHPでの発信を高い頻度で実施する事で、園の方針だけでなく、その日の活動（園児達が園生活を楽しんでいる様子等）を伝える事ができている。また行事の前には詳細についてお手紙を配布し、保護者の理解を得られやすいよう使い分けもされている。
5	長時間保育の検討	人員確保等の職員負担軽減をはかりつつ、保護者ニーズに応え、保護者の安心感につながる、子どもを預けやすい環境を提供していく。	B 令和3年度から早朝保育がはじまり、加えて預かり時間を延長したり春休み／夏休み等の長期休暇中の預かりを増やす等、保護者のニーズに対応している。また、帰りのバスの添乗者を雇用した事で職員が保護者と会話する機会も増やす事ができているが、引き続き職員負担軽減をはかっていく必要がある。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	コロナ禍にはあるので、実地研修を可能な範囲で実施して「実体験」として学びを得ると同時に、オンライン研修も受講していく必要がある。園外の研修で学んだ職員が、園内に対して共有できる場の設定を設けて「研修」自体の数も増やす必要がある。
2	安全管理体制の充実	定期点検は実施できているものの、消耗品や机、いす等の老朽化といった点にも目を配る必要が見受けられる。点検対象を現場の意見を参考に再度検討する必要がある。
3		実施ができなかった地域との連携や消防署等との実地訓練、不審者対応訓練の実施を行う事が必要である。
4	保護者への発信	引き続きSNSやHP、お手紙での情報発信を継続し、拡充していく事が必要である。また一部保護者からは発信した情報が伝わっていない事もある為、もれなく配信できるよう体制を整える必要がある。
5	長時間保育の検討	預かり保育の時間や対応日数が増えた事で職員への負担があるものと見受けられる。シフトによる調整、人員の確保、等資源を最大限に活用できる環境整備が必要と思われる。

V. 学校関係者の評価

教育の質の向上について

コロナ禍においても、先生方がしっかりと研修にのぞみ、その内容について日々熱心に取り組んでいる様子が見受けられる。定期的に課題も見直し、現況をふまえて改善に紳士に取り組んでいる。

安全管理体制の充実について

終息の見えないコロナ禍の中で、子どもたちの安全と健康を守る事が不可欠である。その中で、遊具やおもちゃ、教室の消毒等をこまめに行っており、安心して子どもたちが過ごせる環境を構築できているものと思われる。加えて、子どもたちにも自然と消毒の意識が身についてきている事がうかがえる。

避難訓練等に関しても、子どもたちの身になっているものと見受けられる。

保護者への発信について

アプリが導入された事で、登園降園時間の管理、体調管理、園への連絡やお休み、他重要な連絡もそのアプリを通じて知る事ができて非常にスムーズな連絡の流れができています。また、高い頻度で写真に掲載している為、園で子どもたちが楽しんでいる様子を知る事ができる点が非常に良い。

長時間保育の検討について

早朝保育や延長保育の時間が延長された事で、働く保護者さんが増えている昨今、保護者にとって非常に手厚いサービスとなっている。

以上